

平成30年度 第80回末弘杯
全九州高等学校選手権新人水泳競技大会

監督者会議資料

日時 平成30年9月28日(金)16時~
場所 熊本市総合屋内プール【アクアドームくまもと】
1F 招集所

会議次第

1 開 会

2 あ い さ つ

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) 九州高等学校体育連盟水泳専門部委員長 | 田代 稔 |
| (2) 一般社団法人熊本県水泳協会会長 | 園木 洋二 |

3 競技上の注意

- | | |
|-------|-------|
| 大会審判長 | 陶山三千也 |
|-------|-------|

4 諸 連 絡

- | | |
|------------------------|-------|
| 熊本県高等学校体育連盟水泳専門部副専門委員長 | 山川 勝也 |
|------------------------|-------|

- (1) 大会申込状況
- (2) 開会式・閉会式について
- (3) プログラムについて
- (4) 更衣室・応援について
- (5) プール開・閉門と練習時間について
- (6) 施設利用について
- (7) ADカードについて
- (8) その他について

5 宿泊・弁当について

株式会社 チーム

6 質疑応答

7 閉 会

< 競技上の注意 >

1. 競技は、平成30年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則により行う。
2. 競技進行は、タイムスケジュール（別紙参照）通りに行う。ただし、競技予定時間から20分を超えて変動が生じた場合は通告より連絡する。
3. 決勝は予選の結果、上位8名が決勝に出場できる。また、50mから200mの個人競技においてはB決勝を行う。B決勝は予選ランキング9位～16位の選手が出場できる。ただし、棄権者が出た場合は、次点順位より順次出場権を与える。
4. 決勝・B決勝進出は同記録で予定人数を超えた場合、スイムオフは行わずランキング発表後直ちに抽選を行う。補欠選手の優先決定も同様とする。
5. 招集は競技開始20分前から行う。決勝競技については必ず補欠選手も招集を受けるようにする。
6. 公式計時は全自動審判装置を使用し、バックアップは半自動審判装置を使用する。
7. ゴールタッチは、タッチ版の有効面に確実にタッチすること。
8. 決勝のリレーオーダー用紙の提出は、競技開始1時間前までとする。但し、各リレー種目のリレーオーダー用紙の提出〆切は以下の通りとする。
 - 男女4×100mメドレーリレー予選は、監督会議終了後。
 - 男女4×100mリレー予選は、第1日目13時30分とする。
 - 男女リレー決勝・対県リレーは、競技開始予定時刻の1時間前とする。
 - 提出後のリレーオーダーの変更は、突発的な事故やけがなど以外は認めない。
 - リレーオーダー用紙は招集所に提出する。
9. 棄権について
 - 予選競技では予選競技開始1時間前までに棄権届出用紙を招集所に提出する。
 - 決勝競技ではその該当レース開始1時間前までに棄権届出用紙を招集所に提出する。
10. 選手紹介について
 - 予選競技では通告は行わない。
 - B決勝競技では自レーンに入場後、通告が行われる。
 - 決勝競技では入場ゲート前で選手名、学校名（リレーの場合はこれに加えリレーメンバー）の通告を受けてから入場する。
11. レース終了後は次レースがスタートするまでは水中で待機し、次レースのスタート後、速やかに退水すること。ただし、予選競技の最終組・決勝競技・背泳ぎ・リレー競技については速やかに自分のレーンから退水すること。
12. 表彰は、3位までに入賞した選手は指定された場所へ速やかに移動すること。なお、表彰への部旗・タオル等の持ち込みは禁止する。
13. 本大会は、上訴審判団を設置する。競技中に発生した事柄に関する抗議は、発生後30分以内に引率責任者と県専門委員長が大会本部へ必要書類を提出する。その際、抗議料として10,000円を添えること。

< 諸 連 絡 >

(1) 本大会申込状況 参加校 226 校、 参加選手：男子 587 名、女子 459 名（選手計 1 0 4 6 名）

(2) 開・閉会式について

開会式

選手団の編成は、各県男女 3 名の計 6 名とし、返還団は前年度優勝校の男女それぞれ 2 名の選手の計 4 名、古賀杯および石井杯返還校 1 名の 6 名で編成する。なお、服装については、各学校のユニフォーム（チームシャツ可）とする。29日（土）午前 9 時より行うので、各県別にプールサイドに 8 時 5 0 分までに集合整列すること。

閉会式

受賞団（男女各優勝校 2 名，2 位・3 位 1 名および黒佐賞男女 1 名，計 1 0 名）と開催県からの編成選手団とする。なお、各学校のユニフォーム（チームシャツ可）を着用の上、プールサイドの指示された場所に集合すること。

(3) プログラムについて

プログラムの配付については、参加選手 1 0 名未満には 1 部、1 0 名以上は 2 部配付する。

プログラム記載事項の誤りは、監督者会議終了後、正誤表に記入の上、提出すること。

プログラムは、1 部 1 , 0 0 0 円で販売する。

(4) 更衣室、応援について

更衣室の利用は正しく行うこと。ロッカーを使用する場合は施錠をすること。

大会期間中のサブプールの更衣室は、使用出来ません。

貴重品の管理は各学校・選手の責任において行うこと。

部旗の設置場所については、0・9 レーン側の観客席最前列（透明フェンスの下）に結びつける。飛び込みプールのネットや競技運営を妨げる場所、非常口灯付近への設置は禁止する。

(5) プール開・閉門と練習時間等について

28日（金）の開門は 13 時、練習時間は、13 時～19 時までとする。

選手控えの場所取りは 28 日（金）13 時からとする。

開門時間は、29・30 日とも 7 時 0 0 分とする。（正面 1 階を開門します。）

1) 正面 1 階、2) 外 2 階のプール出入口、2 カ所を開門する。

本プールでの競技前練習は 2 日間とも、午前 8 時 4 0 分までとする。

プール閉門時間は、競技終了後 6 0 分とする。

2 日間とも 0・9 レーンをダッシュレーンとする。また、状況に応じてダッシュレーンを増やすことがある。

本プール 8 レーンをペースレーンとする。なお、ペースレーンでの練習はクロールのスイムのみとする。

本プール及びサブプール、飛び込みプールでのパドル・シュノーケル、チューブ等の使用は禁止する。

入水する際は事故防止のため、飛び込み台左側より足から入水すること。

レーンロープにはつかまらないこと。

サブプール 1 レーンをダッシュレーンとする。

日 程	開門	競技 前練習	公式スタート 練習	開会式	競技開始	閉会式	閉 門
28日（金）	13:00						19:00
29日（土）	7:00	～8:40	8:00～8:20	9:00	9:30		競技終了後60分
30日（日）	7:00	～8:40	8:00～8:20		9:00	競技終了後	

(6) 施設利用について

プール会場

- (ア)選手、引率関係者の会場への出入りは、1階エントランスホールより行うこと。
- (イ)2階トレーニング室については立ち入り禁止とする。
- (ウ)レース終了後は、飛び込みプール側を通り更衣室側へ退出すること。
- (エ)本プール・サブプール・招集所への入場について、引率者・コーチ等は必ずADカードを提示し許可を得ること。選手へのADカード発行は行わないが、上記への入場の際はチームジャージを着用することを原則とする。
- (オ)プール内は土足禁止とする。

選手控え場所

- (ア)観客席・2階控え通路を選手控えとする。(県別で割振るので各県譲り合って使用すること。)通路については大会中荷物を置いたままで構わないが、終了後速やかに片付けること。観客席については荷物を置いての場所取りを禁止する。
- (イ)本プール・招集所・1階エントランスホール周辺には場所取りを禁止する。
- (ウ)2階外テラスから、選手控え通路への出入りは禁止とする。(非常口を開けないこと)
- (エ)その他、施設利用の際、用具・器具など破損等無いよう注意すること。
- (オ)観客席最前列及び中段通路での立ち見応援は禁止する。

一般観客について

- (ア)朝の入場は、外大階段プールスタンド2階入り口とする。
29日、30日とも7:10開場
- (イ)2階スタンドは県別に割り当てる。2階の外テラスでのプライベートテント設営は可能だが、強風対策を十分に行い、終了後には小さく折りたたむこと。
- (ウ)2階外テラスから、選手控え通路への出入りは禁止とする。(非常口を開けないこと)
- (エ)2階スタンドの荷物・シートなどを置いての場所取りは禁止する。また、立ち見席などでイスを持参しての観戦も控えること。(車いす利用者等へ配慮すること。)
- (オ)1階エントランスホール周辺には、場所取りを禁止する。
- (カ)観客席最前列及び中段通路での立ち見応援は禁止する。

コーチボックスについて

- (ア)コーチボックスを本プール9レーン側に設置する。引率・コーチは必ずADカードを提示し、飛び込みプール裏側を移動し出入りすること。
- (イ)本プールのプールサイド内ではコーチボックス以外での応援を禁止する。

(7) ADカードについて

ADカードは、各学校の引率者分のみ準備する。ADカードは必ず首に下げ、常時見えるよう提示すること。(選手へのADカード発行は行わないが、チームのユニフォーム等を着用しておくよう注意すること。)

監督者会議終了後、追加ADカードについては、引率責任者が発行申請書に必要事項を記入の上、提出して受け取ること。(枚数に限りがあります。)

(8) その他について

- 救急病院について・済生会 熊本病院(TEL096-351-8000)
- ・地域医療センター(TEL096-363-3311)
- ・熊本整形外科 (TEL096-366-3666)
- 大会担当者 携帯電話(090-8411-5702 山川)

ゴミ処理について

(ア) 各チームが責任をもってゴミを持ち帰ること。

(イ) 「来たときよりも美しく！」を目標に、お帰りの際は、控え場所・観客席等を確認後、ゴミや忘れ物が内容に注意すること。

駐車場について

(ア) マイクロ・大型バスは、指定された場所に停める。

(イ) A・Bブロックの使用は禁止する。

カメラ・携帯電話・スマートフォン・ビデオ撮影について

観客席からのみ、許可する。撮影禁止区域、プールサイドからの撮影及びフラッシュを使用の撮影はできない。

リザルトについて

(ア) 多目的フロア電光表示板にレースのリザルト速報を表示する。

(イ) 1階エントランスホールに公式掲示版を設置する。

< 宿泊・弁当・その他について >

チーム：猪口（携帯 080-3496-5609 ）

< 質 疑 ・ 応 答 >

開会式次第

日時：平成30年9月29日(土)9時00分

場所：熊本市総合屋内プール【アクアドームくまもと】

- 1 開式通告
- 2 開会宣言
- 3 国旗掲揚
- 4 前年度優勝杯返還ならびにレプリカ授与
 - ・競泳男子総合優勝校 柳川高等学校 優勝盾返還
レプリカ授与
 - ・競泳女子総合優勝校 福岡大学附属若葉高等学校 優勝盾返還
レプリカ授与
 - ・古賀杯(男子400mMR)優勝 東福岡高等学校 古賀杯返還
 - ・石井杯(女子400mMR)優勝 ルーテル学院高等学校 石井杯返還
- 5 あいさつ
(一社)熊本県水泳協会会長 園木 洋二
- 6 競技上の注意
- 7 閉式通告

【会場図】

返還団 福岡 佐賀 長崎 大分 宮崎 鹿児島 沖縄 熊本

飛び込みプール

電光掲示板

選手
出入口側

大会役員

本部席

閉会式次第

日時：平成30年9月30日（日）競技終了後
場所：熊本市総合屋内プール【アクアドームくまもと】

- 1 開式通告
- 2 成績発表
熊本県高等学校体育連盟水泳専門委員長 田代 稔
- 3 表彰
・競泳男子総合優勝
・競泳女子総合優勝
・古賀杯（男子4×100mMR優勝）
・石井杯（女子4×100mMR優勝）
・黒佐賞（最優秀選手賞男女各1名）
- 4 講評
（一社）熊本県水泳協会会長 園木 洋二
- 5 閉会宣言
- 6 閉式通告

【会場図】

返還団

熊本県選手団

飛び込みプール

電光表示板

選手
出入口側

大会役員

本部席